

2017年度

一般財団法人東京マラソン財団
事業計画及び予算書

2017年3月

一般財団法人東京マラソン財団

法人の概要

1 設立年月日

平成 22 年 6 月 30 日 一般財団法人東京マラソン財団 設立

2 事業の概要

この法人は、東京マラソンを安定的に運営し、国内外から多くのランナーが集う世界最高水準の大会へと発展させるとともに、ランニングスポーツの普及振興を通じて、都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与することを目的として、以下の事業を行うこととしている。

- (1) 東京マラソンの企画運営に関する事項
- (2) 東京マラソンの魅力を向上させるための事業
- (3) ランニングスポーツの普及振興に関する事業
- (4) その他、この法人の設立目的を達成するための事業

3 基本財産

8. 8 億円

東京都出捐金 8 億円

公益財団法人日本陸上競技連盟出捐金 8 千万円

目 次

2017 年度事業計画及び収支予算

<2017 年度事業計画>

I	経営方針	1
II	事業体系	2
III	東京マラソン 2018	3
IV	オフィシャルイベント	5
V	チャリティ事業	6
VI	東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」	6
VII	東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ 「VOLUNTAINER (ボランティア)」	7
VIII	関連団体連携事業	7

<2017 年度収支予算>

	2017 年度収支予算	8
--	-------------	---

2017 年度事業計画

I 経営方針

2017 年度の事業実施に当たっては、東京マラソンを通じたランニングスポーツのさらなる発展を目指すとともに、東京マラソンを世界最高峰の大会へと成長させ、その地位を強固なものとするため、新コースにおける運営の改善や大会としての付加価値向上に向けた取組みを推進する。

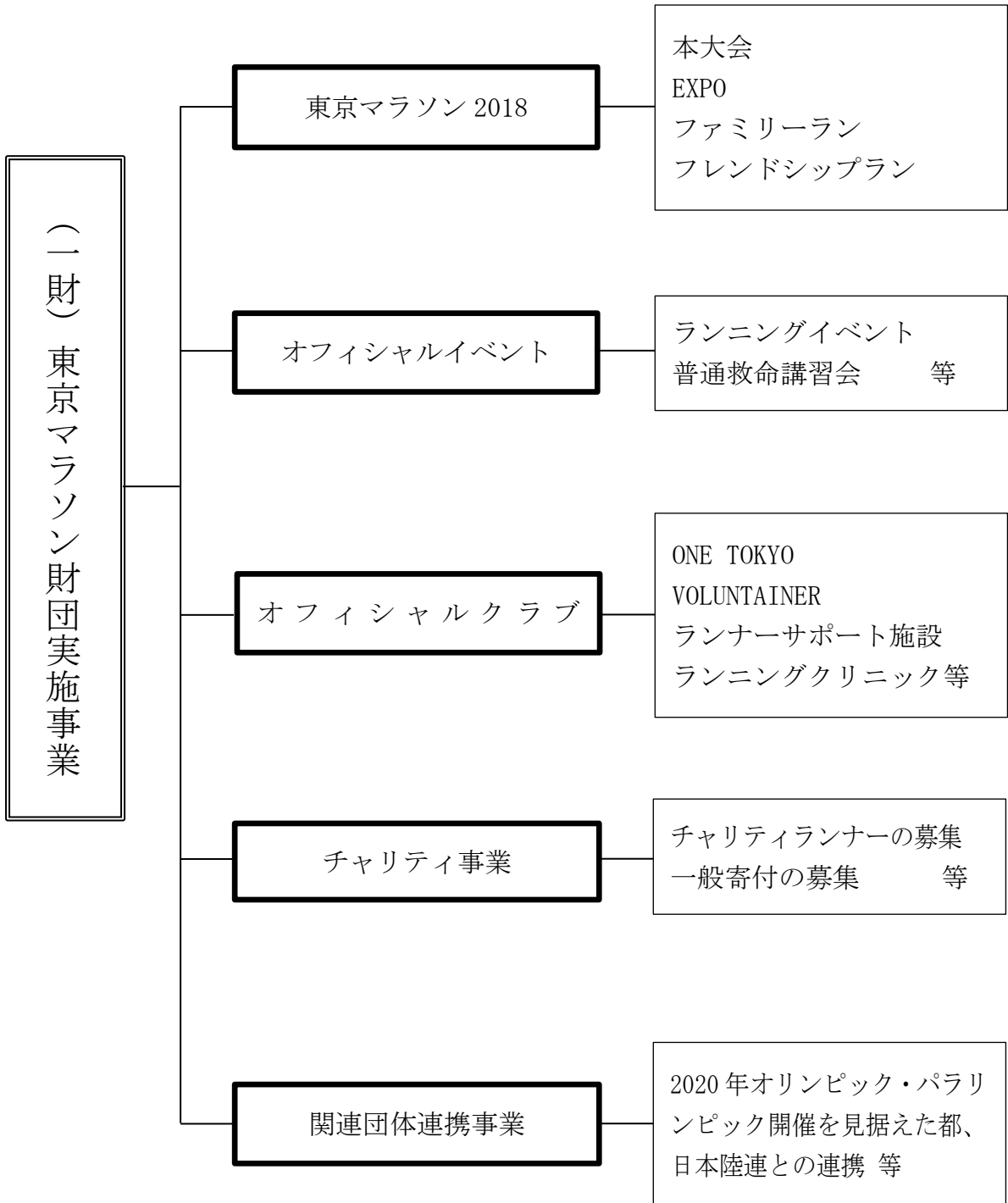
また、2017 大会に引き続き、警備や医療救護、危機対応の強化を図り、より安全・安心な大会運営に努めていく。

その他の事業として、東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」の会員サービスや 2016 年度から開始した東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」の登録者向けコンテンツを充実させるとともに、オフィシャルイベントの開催や、ランナーサポート施設「ジョグポート有明」の活用などにより、より多くの市民にランニングの機会を提供していく。

また、社会貢献活動の一環として、チャリティランナーの募集を通じた活動を中心にチャリティ活動を実施する。実施に当たっては、スポーツレガシー事業をはじめとした寄付事業の充実を図るほか、より多くのランナーがチャリティに参加できるよう、定員の拡充を実施し、東京マラソンを通じた寄付文化の醸成を図る。

これらの事業を確実に実施するため、当財団の運営に当たっては、財源の確保と経費縮減の取組みを進め、安定的な経営基盤を確立するとともに、経営の透明性の向上を進め、より多くの市民の理解と協力が得られるよう努めていく。

II 事業体系



Ⅲ 東京マラソン 2018

東京マラソンのコンセプトである「東京がひとつになる日。」を具現化するよう、国内外のトップランナーと市民ランナー、大会を支えるボランティアや沿道の観客が一体となった大会運営を目指す。

運営にあたっては、東京マラソン 2017 により明らかとなった新コースやフィニッシュエリアにおける課題解消に向けた具体的な取組みを進めるとともに、コース沿道地域との協力関係を一層強固なものとし、より円滑な大会運営を目指す。

また、2017 大会に引き続き、沿道自治体等の関係者間の連携を密にし、世界一安全・安心な大会に向けた警備や医療救護、危機対応の強化を図る。

1 東京マラソン 2018

項目	内容	備考
日程	2018年2月25日(日)	2月第4日曜日
時間	9時05分～16時10分	
場所	東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り	
マラソン	35,500人	19歳～
10km	500人	16歳～18歳 障害者及び移植者

2 東京マラソン EXPO 2018

項目	内容	備考
日程	2018年2月22日(木) ～24日(土)	
時間	11時00分～21時00分	※最終日は20時まで
場所	東京ビッグサイト	

3 東京マラソンファミリーラン 2018

次代を担う子どもたちに東京マラソンの魅力を体感し、スポーツに親しむ機会を提供するためのイベント

項目	内容	備考
日程	2018年2月24日(土)	予定
時間	9時30分～10時15分	2017大会実績より
会場	臨海副都心シンボルプロムナード公園 特設ランニングコース	予定
規模	1,000組2,000人	2017大会実績より

4 東京マラソンフレンドシップラン 2018

東京マラソンに参加するため、来日した外国人へのおもてなしや交流等を目的としたランニングイベント

項目	内容	備考
日程	2018年2月24日(土)	予定
時間	10時45分～12時00分	2017大会実績より
会場	臨海副都心シンボルプロムナード公園 特設ランニングコース	予定
規模	2,000人	2017大会実績より

IV オフィシャルイベント

1 ランニングイベント

マラソン大会に出場するための準備の機会や、ランニングの魅力を広く普及することなどを目的として、ランニングイベントを開催し、多くのランナーに走る機会を提供する。

2017年度については、下記のとおり実施する。

(開催予定)

日 時	名 称	場 所	備 考
5月14日	有明・お台場 ハーフリレーマラソン	臨海副都心シンボルプロムナード 公園特設ランニングコース	リレー ファンラン
10月中旬	未定	葛飾区木根川橋 少年野球場(予定)	ハーフ マラソン

2 普通救命講習会

マラソンは健康増進や走りきる達成感など楽しいスポーツである反面、ランナー自身の体調や気象条件によっては、危険なスポーツにもなる。ランナーやボランティアなど多くの者が適切なBLS（一次救命処置）を実施できるよう、心肺蘇生やAEDの使用方法を教える講習会を開催する。

V チャリティ事業

家族、友人等に寄付への協力を呼びかけ、寄付先事業を支援するクラウドファンディングや「スポーツレガシー事業」の一層の周知を図るとともに、寄付先事業とも連携し、より多くの寄付者、寄付金を募り、社会に貢献していく。

項目	内容
寄付募集期間	2017年7月1日（土）～2018年3月31日（土）
チャリティランナー	募集期間：2017年7月1日（土）～8月31日（木） ※先着順 募集人数：4,000人 募集要件：10万円以上寄付し出走を希望した方

VI 東京マラソン財団公式クラブ「ONE TOKYO」

「ONE TOKYO」は、東京マラソンを中心とした人々が集うプラットフォームとして、「ともに走るよろこび」をあらゆる人々に届けるため、各種情報提供、ランニングイベント、講習会など魅力的なコンテンツを提供していく。

2017年度は、現在の会員に対して、より一層魅力的なコンテンツを提供し、会員数の維持、向上を図る。

会員区分	会員数（2017年3月14日現在）
プレミアムメンバー（有料）	約3万1千人
クラブメンバー（無料）	約49万人

1 ランナーサポート施設「ジョグポート有明」

「ONE TOKYO」会員をはじめとしたランナー同士の年間を通じたコミュニケーション拠点として、ランナーサポート施設を運営する。

2 ランニングクリニック等

「ONE TOKYO」会員向けランニングクリニックや、「ジョグポート有明」を活用したランニングイベントなど会員向けサービスを充実させる。

VII 東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ

「VOLUNTAINER (ボランティア)」

東京マラソンを支える1万1千人のボランティアを中心とし、引き続き自発的・継続的かつ楽しくボランティア活動ができる場の提供や、新規会員の獲得を目指した施策を実施し、誰もがボランティアとして参加できる環境を整備していく。

1 ボランティア活動機会の提供

東京マラソンをはじめとしたスポーツイベント等でのボランティア活動機会を提供する。

2 会員向けサービスの充実化

楽しく活動しやすい環境作りのために、VOLUNTAINER サイト内サービスの充実を図り、会員に向けて活動に役立つ情報提供を行っていく。

3 スキルアップとリーダーの人材確保・育成

ボランティア運営の中核となるリーダーのさらなる人材確保を目的としてボランティアリーダー研修兼選考を開催する。

また、リーダーのみではなく、全ての会員向けに様々なテーマの講習を実施する。

VIII 関連団体連携事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、東京都や日本陸上競技連盟とも連携しながら事業を運営していく。

2017年度 収支予算

(円)

会計	科目	2017年度 予算	2016年度 予算	増減	主な増減理由
チャリティ事業会計	経常収益	40,755,000	403,000	40,352,000	チャリティ協働プロモーション費の増(10,000千円) スポーツレガシー事業寄付金の増(30,000千円)
	経常費用	66,800,000	29,245,000	37,555,000	スポーツレガシー事業経費の増(30,000千円)
	経常増減額	△ 26,045,000	△ 28,842,000	2,797,000	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	△ 26,045,000	△ 28,842,000	2,797,000	
スポーツ普及振興事業会計	経常収益	2,881,044,000	3,053,317,000	△ 172,273,000	協賛金収益の増(40,000千円) 東京都負担金の減(△200,000千円)
	経常費用	2,728,004,787	2,798,520,000	△ 70,515,213	コース変更関連費の減(△300,000千円) 共通費用配賦による増(130,000千円) 危機管理対策経費の増(45,000千円) ボランティアシステム開発費の増(30,000千円)
	経常増減額	153,039,213	254,797,000	△ 101,757,787	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	153,039,213	254,797,000	△ 101,757,787	
ランニングサポート事業会計	経常収益	190,285,000	178,130,000	12,155,000	
	経常費用	147,833,000	129,150,000	18,683,000	
	経常増減額	42,452,000	48,980,000	△ 6,528,000	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	42,452,000	48,980,000	△ 6,528,000	
法人会計	経常収益	6,490,000	6,741,000	△ 251,000	
	経常費用	175,936,213	281,676,000	△ 105,739,787	共通費用配賦による減(130,000千円)
	経常増減額	△ 169,446,213	△ 274,935,000	105,488,787	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	△ 169,446,213	△ 274,935,000	105,488,787	
合計	経常収益	3,118,574,000	3,238,591,000	△ 120,017,000	
	経常費用	3,118,574,000	3,238,591,000	△ 120,017,000	
	経常増減額	0	0	0	
	経常外増減額	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	